

# 理研会報

行  
印教研理科研究部  
事 務 局  
成田市幸町948-1  
成田小学校内

## 馬集勧励集会

一部会

### 理解を助ける効果的な力学指

善の追求（中学校を主に）

田原の理科授業を実践している

中で、教師・生徒とも少なからず

抵抗感を抱いたのが「力」の単元

である。生徒にとっても抽象度が

高く、実験を通して、わかるこ

とよりも、計算・作図を通して高

度な思考を要求される場面が多

い。教師にとっても、力と重さ、

質量と重さ等、結論しにくい事事

を含んでいることが抵抗感の原因

である。生徒にとっても抽象度が

高く、実験を通して、わかるこ

とよりも、計算・作図を通して高

度な思考を要求される場面が多

い。教師にとっても、力と重さ、

質量と重さ等、結論しにくい事事

業実践をして、考察を加えて報告して  
たい。

また小学校については、前年度  
までの研究をさらに深めていくつ  
もりで進めている。

二部会

地域の実態に即した生物教材の

指導

第三回会

地域の自然の教材化

四部会

第二回三ヵ年計画の三五目には

に・自然に直結する学習の機会

をとけるだけ多くし、興味関心を

高めながら、地域の自然を生かし

た活動ができるよう、努力し

てきた。以下、提案の概要をお知

らせする。

五部会

本年度は分教會による關係から

困難と思われる生物教材について

地域の実態を把握し、授業実践に

取り組んでいきたい」と計画

を立てている。

六部会

このため小学校部会では、二部

会の実態調査を行ない、生物教材

指導計画・授業記録ほか、地域の

実践をした記録を発表する。単元

は、「地域」宇宙の指導単元を

星の明るさと動植物(五年)、中学校

度も継続テーマで進めている。

七部会

本年度は分教會による關係から

困難と思われる生物教材について

地域の実態を把握し、授業実践に

取り組んでいきたい」と計画

を立てている。

のスタートとして研究の方針づけ

を予想して検証することにより、

の上からも書はしきことと言えよ

それに代わるモデルや施設のつ

つも検討してみた。

と主としている。現段階では、ま

生物界における物質とエネルギー

すね、自然環境の把握につとめて

いる。その中から、今後の研究方

の循環について理解を深めさせる

ことをねらった実践報告である。

三年間にわたる研究の成果とし

て、能力テストの面からも、大大

幅広く進めていくとともに、小

学校は、高・中学校の各分教會に

三ヵ年の終りの年度なので、研

究のまとめとして、成果や課題は

どうにしても、明らかにしてみた

いと考へている。

が意欲的になってしまっていることは、

実際に問題に直結する実践

が意欲的になってしまっていること

た、現地での問題が困難な教材は

いたしました。